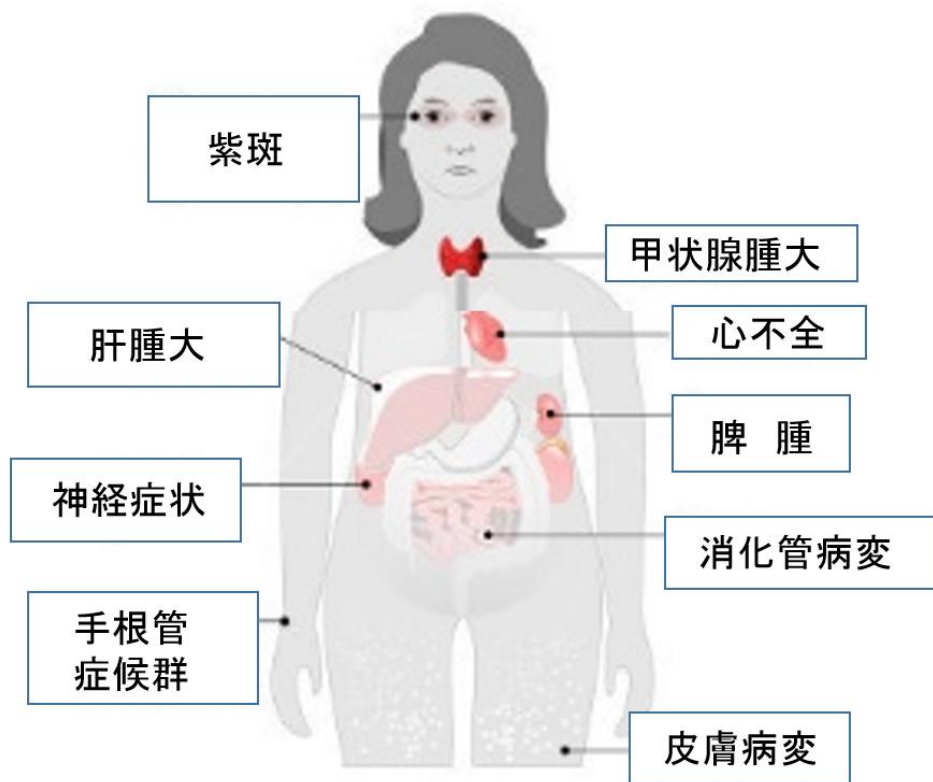


消化管アミロイドーシスとは

- アミロイドーシスとは、アミロイドと呼ばれる異常タンパク質が全身のさまざまな臓器に沈着し、機能障害を起こす病気です。

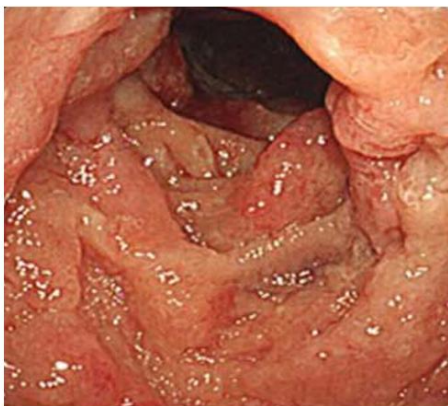


- 消化管（胃腸）はアミロイドが沈着しやすいため、消化管アミロイドーシスと呼ばれています。

- 症状は、全身倦怠感、体重減少、浮腫、貧血、悪心、おう吐、食欲不振、下痢、消化管出血、腹部膨満などです。
- 沈着するアミロイドの種類から、主に以下の4つに分類されます。

1) AL (Amyloid light chain) アミロイドーシス

原発性アミロイドーシス、多発性骨髄腫に伴うもの



2) AA (Amyloid A) アミロイドーシス

関節リウマチなどの炎症に伴うもの



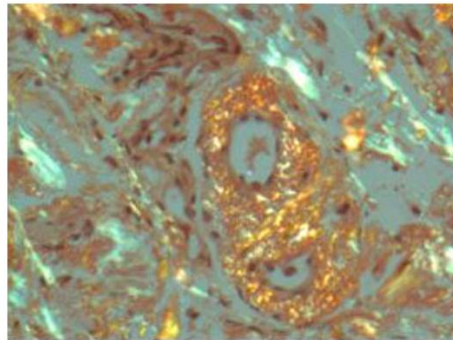
3) TTR (Transthyretin) アミロイドーシス

家族性アミロイドーシスに伴うもの

4) 透析アミロイドーシス

長期の透析患者さんにみられるもの

- 診断のためには、内視鏡下の生検が必要です。アミロイドタンパクは、とられた組織標本の染色により同定されます（Congo red 染色）。



- 詳細な診断と治療は、大学病院で行う必要があります。



